

# 活 動 記 録 簿

議員名 福 田 雅 之

年 月 日	令和4年4月26日			
表 題	市政報告書（阪南市こうめいレポート 2022年4月）			
相 手 方	市民			
配布部数等	7,500枚（印刷・配布）			
目的、内容、 結 果 等	<p>市政報告書で、市民の皆さんに市議会での質問・活動について報告し、意見、要望等を聴取する。</p> <p>○令和4年3月阪南市議会第1回定例会での一般質問について                  ○おくやみコーナーのご案内について                  ○サラダステーション（阪南市のテレワークスペース）について</p>			
活動に要した 経 費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
				円
				円
				円
				円
				円
	経費内容	金額	内 訳	
	印刷代	14,302円	内訳：7,500枚（A4・両面印刷）	
	配布費	38,500円	内訳：7,000枚（5円/枚）	
		円	内訳：	
		円	内訳：	
		円	内訳：	
合 計	52,802円	使途項目（広報費）		
備 考	印刷作成：ラクスル株式会社      配布：クラシード南大阪			



令和4年第1回定例会が3月に開催されました。令和4年度の当初予算をはじめ、補正予算、条例制定等の重大な案件を慎重に審議いたしました。

一般質問では公明党阪南市議団(福田雅之・二神勝・山本守)で内容を検討、福田まさゆきが代表質問を行いました。これからも皆さまの声をしっかりと市政に届け、安心・安全で活力あふれるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

## 代表質問 SDGs の啓発活動・シティプロモーションの推進

**問** 人口減少に直面する阪南市においても、地方創生や地域の活性化をすすめる対策である、シティプロモーションは重要であります。どのようにして地域のイメージを向上させるのかを、各自治体が頭をひねり、様々な取り組みがすすめられています。今後、プレゼン力をさらに高め、体験コンテンツの整備、また、おもてなしなどソフト面をブラッシュアップしていかなければなりません。そこで、SDGs の啓発活動やシティプロモーションの推進についてお聞きします。

**答** SDGs の啓発活動につきましては、広報はんなんや阪南 TV、特にフォロワー数が順調に増加しているインスタグラムを効果的に活用し、普及啓発を推進しております。また、職員向けのセミナーの開催、はんなん産業フェアなど各種イベント等でもPRを行うとともに、大阪府やくら寿司と連携し、市立小学校への SDGs 出前講座も実施しています。一方、シティプロモーションの推進におきましては、本年4月から株式会社伊藤園とのプロジェクトや、上田安子服飾専門学校などと連携し、若い世代の皆さんにも本市の魅力を発信できるよう取り組む予定です。さらに、モンベルのフレンドエリアとして登録されている本市の海・山・里の豊かな自然の魅力発信を行い、交流人口の創出につなげるため、「里山里海プロジェクト」として、自然が体験できるモニターツアーなどを実施する予定です。

**問** 公明党は地方創生テレワークへの支援を要望、テレワークを進めることは地方の人の新しい流れをつくり、地方創生に貢献するなど国会質問でも繰り返し推進してきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からもすごい勢いでリモートワークが広がっています。住みたい場所や働きたい場所を自分たちで選ぶ動きが加速化し、会社というコミュニティの価値も見直されていくのだろうと言われています。そこで、リビング・シフトに対応した、シティプロモーションについてお聞きします。



**答** 新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワーク等で浸透しつつある新しい価値観、リビング・シフトに対応した関係人口の創出・拡大や移住定住の促進を図るため、ポストコロナ社会の潮流を踏まえた情報発信の基盤整備として、PR動画やパンフレット、移住定住ポータルサイトなどの作成を進めています。令和4年度においては、作成した動画やパンフレット等を活用し、都市圏から地方への移住、二地域居住希望者などを対象とした魅力的な情報発信活動を行ってまいりたいと考えております。

## おくやみコーナーについて

**問** 総合窓口の取り組みとして、おくやみコーナーについてお聞きます。

**答** 市民サービスの向上を図るため、おくやみに関する総合窓口として、市役所で死亡に関する様々な手続きを移動することなく、ワンストップで行える「おくやみコーナー」を本年2月から試行運用しています。「おくやみコーナー」では、事前予約時に、名前や住所、生年月日などの基本情報を伺い、申請書などの書類作成の支援を行っています。試行状況を踏まえ、来年度から本格実施してまいります。

◆ご利用の3営業  
日前までにご予約  
ください。

おくやみコーナー

## おくやみコーナーのご案内

**お問い合わせ** 阪南市役所 市民課 072-471-5678  
「おくやみコーナー予約の件」とお伝えください。

**電話受付** 午前9時～午前11時 午後2時～午後4時  
※土・日・祝・年末年始を除く。

**手続き対応** ①午前10時 ②午後3時  
※土・日・祝・年末年始を除く。

**おくやみコーナー  
設置場所** 阪南市役所 1階 市民課窓口横  
(正面玄関右側)

## 阪南市のテレワークスペース サラダステーション

阪南市役所地下スペース 「くらし」と「しごと」全部たのしむ  
ワークスペース

「気分を変えて仕事したい！」  
「地元で何か起こしたい…」  
「隙間時間にちょっとだけ。」

住み慣れた場所で仕事もする。  
それって案外心地良いことなのかもしれません。

「サラステ」は、地下に広がる“第二の阪南市”です。

テレワーカーのためのオープンスペースです。  
快適でおしゃれな空間となっておりますので  
ぜひご利用ください！

予約サイト、電話またはシティプロモーション推進課窓口で予約してください



—KOMEITO—  
**公明党**

皆さまの声をお気軽  
にお聞かせください。

公明党阪南市会議員団



二神 勝  
ふたがみ かつ



山本 守  
やまもと まもる



福田 雅之  
ふくだ まさゆき

【発行】

阪南市議会議員

**福田 雅之**  
ふくだ まさゆき

阪南市尾崎町 1-4-23-2

電話/FAX (072) 472-5906

# 活 動 記 録 簿

議員名 福 田 雅 之

年 月 日	令和4年7月25日			
表 題	市政報告書（スマイルレポート 2022年7月）			
相 手 方	市民			
配布部数等	7,500枚（印刷・配布）			
目的、内容、結果等	<p>市政報告書で、市民の皆さんに市政の情報や市議会での質問・活動について報告し、意見、要望等を聴取する。</p> <p>○令和4年6月阪南市議会第2回定例会での一般質問について ○SDGs 未来都市および自治体 SDGs モデル事業の選定について</p>			
活動に要した経費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
				円
				円
				円
				円
				円
				円
	経費内容	金額	内 訳	
	印刷代	14,302円	内訳：7,500枚（A4・両面印刷）	
	配布費	39,050円	内訳：7,100枚（5円/枚）	
		円	内訳：	
		円	内訳：	
		円	内訳：	
合 計	53,352円	使途項目（広報費）		
備 考	印刷作成：ラクスル株式会社      配布：クラシード南大阪			

# スマイル レポート

令和4年第2回定例会が6月に開催されました。

一般質問では「新型コロナウイルス感染症対策」と「デジタル田園都市国家構想」について質問をさせていただきました。また、予算常任委員会では、令和4年度の補正予算を慎重に審議いたしました。

これからも皆さまの声をしっかりと市政に届け、安心・安全で活力あふれるまちづくりに全力で取り組んでまいります。



## 新型コロナウイルス感染症対策 阪南マイナポイント事業について

**問** 政府が、4月26日に決定した、コロナ禍における「原油価格・物価高騰など総合緊急対策」において、自治体の事業を国が財政支援する「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を拡充し、1兆円の「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」が創設されました。これにより、地方自治体を実施する、生活に困窮する方々の生活支援や学校給食費等の負担軽減など、子育て世帯の支援、また、運輸・交通分野をはじめとする、中小企業者等の支援といった取り組みをしっかりと後押しすることが総合緊急対策に明記されています。

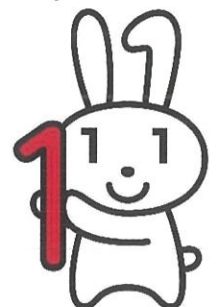
本市においても、市民の方や事業者は、様々な分野で大きな負担を強いられています。我々、公明党市議団は5月23日に、この拡充された「地方創生臨時交付金」を活用し、しっかりと支援が届けられるよう、要望書を提出させていただきました。その項目の中に、自治体マイナポイント事業を積極的に活用しポイントの上乗せを実施することを要望させていただきました。自治体マイナポイント事業の説明をお願いします。

**答** 本市では、自治体マイナポイント事業は、国整備のマイナポイントの基盤である、決済サービス事業者との連携の仕組みを備えたマイキープラットフォームを活用した自治体によるキャッシュレス決済サービスで利用できるポイント給付施策であります。本市策は、マイナンバーカードの普及、キャッシュレス決済の利用促進、地域の消費喚起・地域経済の活性化を進めることができるものであります。



**問** 甲府市は、こうふマイナポイントを導入し、昨年8月から事業を開始しています。本市においても、マイナンバーカードを活用した市民サービスの提供、さらなる普及策をお願いしたいと思いますが、自治体マイナポイント事業の実施に向けて本市の見解をお聞きします。

**答** 本事業は、マイナンバーカードの普及に加え、キャッシュレス決済の利用促進、地域の消費喚起・地域経済の活性化につながるものであることから、6月に予定されている国の説明会を踏まえ進めていきたいと考えています。



マイナンバー

## 健康寿命の延伸 コロナフレイル0(ゼロ)について

**問** 「公報はんなん」の6月号に、コロナフレイルについて、新型コロナウイルスに感染しないよう、自宅にこもりがちになることが原因で、体力が落ちたり無気力になったりして、介護が必要となる一歩手前の状態に陥ってしまうことと説明があり。また、コロナフレイルを防ぐための、三つのキーワードについては「つながる」「しゃべる」「閉じこもらない」とあります。

「オール阪南コロナフレイル0運動」の主旨についてお聞きします。

**答** 本市では、コロナ禍においても介護予防拠点、体操教室や認知症カフェ等、健康づくり・介護予防に関する事業は、継続できるよう取り組んでおりました。しかし、介護予防事業参加者の体力測定の検証や地元医師会からのご意見、また阪南市社会福祉協議会からひとり暮らし高齢者を中心に、「孤立化」拡大の情報を受け、各関係機関が高齢者のコロナフレイルの進行を危惧したところがございます。このような状況のもと、市全体でコロナフレイル対策を行うため、各関係機関が協力し、この運動を実施することになりました。

**問** コロナ禍の外出自粛によって活動頻度が減った人は、身体機能低下や「うつ」のリスクが高まるということが調査で明らかになりました。この、オール阪南コロナフレイル0運動の事業内容についてお聞きします。

**答** 主な内容は、理学療法士や管理栄養士等の医療や介護の専門職が、地域のまちなかサロンカフェ等に出向き、フレイル予防に関する講座や体操等、健康づくりに取り組みます。

**要望** 専門職の方が地域に出向いて講座などを行い、健康づくりに取り組んでいただくことについては評価したいと思いますが、もう一步、進められてはどうか。

名古屋市では、フレイル予防リーダー養成講座を開催しています。例えば、本市でも認知症サポーターや地域で認知症予防に活躍されているが方々おられます、その人たちに専門職の方から講座を開いていただき、認知症予防に加えフレイル予防リーダーという新たな役割を担っていただく、そして、地域でフレイルを防ぐ活動に協力していただければ、さらに、フレイル予防が推進されると考えます、検討をよろしく願いいたします。



## 「SDGs 未来都市」および「自治体 SDGs モデル事業」に選定

阪南市は、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて優れた取組を提案する都市として、令和4年5月20日付けで選定されました。

今後の予定としては、国の「自治体 SDGs 推進関係省庁タスクフォース」による横断的な支援を受けながら取組内容を具体化し、令和4年からの3年間を計画期間とする「SDGs 未来都市計画」を策定の上、各分野における取組を推進していきます。



# 活 動 記 録 簿

議員名 福 田 雅 之

年 月 日	令和4年11月7日			
表 題	市政報告書（阪南市こうめいレポート 2022年10月）			
相 手 方	市民			
配布部数等	7,500枚（印刷・配布）			
目的、内容、 結 果 等	<p>市政報告書で、市民の皆さんに市議会での質問・活動について報告し、意見、要望等を聴取する。</p> <p>○令和4年9月阪南市議会第3回定例会での一般質問について                  ○公明党阪南市議団による地域まわりについて                  ○通学路の安全へ（危険な雑木伐採）について</p>			
活動に要した 経 費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
				円
				円
				円
				円
				円
				円
	経費内容	金額	内 訳	
	印刷代	15,202円	内訳：7,500枚（A4・両面印刷）	
	配布費	39,050円	内訳：7,100枚（5円/枚）	
		円	内訳：	
		円	内訳：	
	円	内訳：		
合 計	54,252円	使途項目（広報費）		
備 考	印刷作成：ラクスル株式会社      配布：クラシード南大阪			



令和4年第3回定例会が9月に開催されました。令和3年度の歳入歳出決算をはじめ、令和4年度の補正予算、条例制定等の重大な案件を慎重に審議いたしました。

一般質問では公明党阪南市議団(福田雅之・山本守・二神勝)で内容を検討し、二神議員が代表質問を行いました。また、福田まさゆきは個人質問をさせていただきました。これからも皆さまの声をしっかりと市政に届け、安心・安全で活力あふれるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

## 公立学校の空調設備の整備について 代表質問 (二神議員)

**問** 阪南市では、学校の「特別教室」や「体育館」の空調設備が未整備となっております。

阪南市の『宝』である子どもたちのためにも、また、体育館にあたっては災害時の避難所として位置づけられておりますので、国の補助制度や新型コロナウイルス対応の地方創生臨時交付金等を活用して、空調設備の整備に取り組むべきだと考えますが、阪南市のお考えをお聞かせ願います。

**答** 令和4年7月20日付けで文部科学省から各種交付金等の活用につきまして周知されております。教育委員会といたしましては、空調設備が未整備となっている、特別教室や体育館につきまして、今後、国の補助制度の活用等も含めた整備手法や維持管理費等を含むコスト面、また、大阪府内における整備状況や、現在、取組を進めております「学校のあり方検討」の内容等も参考にするなど、調査・研究を進めてまいります。



## 災害時のペット同行避難について

**問** 公明党は、災害時のペットの同行避難を巡って、国会質問などを通じて避難所を運営する自治体の備えの重要性を主張してまいりました。東日本大震災や熊本地震などでの経験を踏まえ、国と地方で連携し、対策を推進しております。そこで、阪南市におけるペットの同行避難の状況についてお聞きします。

**答** 近年、ペットを家族の一員と考えられる方が増えてきていることから、その対応については様々なご意見や捉え方があります。過去における他市の災害事例では、一旦避難された飼い主が、置いてきたペットが心配になり自宅に戻ったことで、二次災害に巻き込まれたケースがあります。また、避難所で、ペットを受け入れてもらえないことから避難行動を諦められたり、やむを得ず外に放したことで、野性化や繁殖した事例なども報告されており全国的な課題となってきています。一方で、避難所には、乳幼児や動物アレルギーを持たれた方、また排泄処理や吠え声等で眠れず体調を崩される方などもおられ、様々な課題があることも事実です。ペットの同行避難を受け入れるには、避難所となる体育館以外の場所として、グラウンドの使用や状況によっては校舎内の一部を開放することも視野にいれて検討する必要があります。また、実際に避難されてこられる市民の皆さんのペットに対するお考えや意見も整理する必要があるものと考えます。今後も施設管理者である関係部署と十分に調整をはかりながら、ペットの同行避難の手法について、先進事例も含め慎重に調査研究を進めてまいります。



## 空き家対策について 個人質問(福田議員)

**問** 空き家バンクの登録について、どのようなPRをしているのかお聞きします。

**答** 空き家バンクの登録につきましては、本市のウェブサイトに掲載し、本制度の情報発信を行っているところですが、これまでも空き家の所有者に向けたアンケートで空き家バンク登録のPRを行っております。また、本市の空き家バンク制度は、大阪版・空き家バンクとも連携しており、令和4年から大阪の住まい活性化フォーラムと全日本不動産協会大阪府本部が連携して実施している、大阪版・空き家バンクへの物件掲載を希望する方向けのサービスである「空き家の利活用支援」を当該フォーラムの事務局である大阪府と連携して周知しています。

**問** 自治体によっては、空き家バンクの運営は様々な団体や企業が行っているところもあります。登録件数を増やすためには、より多くの団体や企業と協力して運営することも重要だと考えます、検討をよろしくお願い致します。次に、空き家の利活用についてお伺いします。空き家の所有者のみならず空き家を利用したい方へのアプローチも重要となります。本市の、空き家利活用相談会制度とマッチングについてお聞きします。



**答** 空き家の所有者が空き家を売却、賃貸し、空き家の利活用を促進することで適正な管理が行われない空き家等の発生を抑制することを目的として、令和2年3月に「阪南市空家等の利活用に関する相談業務にかかる協定」を締結しました。この協定に基づき、令和3年度から定期的に空き家利活用相談会を開催しております。この相談会では、空き家の問題を解決するための相談をはじめ、空き家を活用し、利用してもらいたい人と利用したい人をつなぎ、マッチングを行うことで空き家の利活用を促進し適正な管理が行われない空き家等の発生の抑制に努めてまいります。

### 公明党阪南市議団による地域まわり

杉参議院議員とともに公明党阪南市議団で（株）漁師鮮度を訪問させていただきました。消費税のインボイス制度や一次産業支援など現場の声をお聞きしました。阪南市で活躍され、地域のために全力で取り組まれている方々から貴重なご意見を賜りました。



### 通学路の安全へ 危険な雑木伐採

阪南市立下荘小学校の通学路の敷地からはみ出した雑木が大雨の際に倒れるなどの危険があり、住民から改善を求める声が上がっていたため、垣見府議と連携し安全対策を要望。近くに住む谷下さんは、「本当に助かりました」と話されていきました。



— KOMEITO —  
**公明党**

皆さまの声をお気軽  
にお聞かせください。

公明党阪南市会議員団



二神 勝  
ふたがみ かつ



山本 守  
やまもと まもる



福田 雅之  
ふくだ まさゆき

【発行】

阪南市議会議員

**福田 雅之**

ふくだ まさゆき

阪南市尾崎町 1-4-23-2

電話/FAX (072) 472-5906

# 活 動 記 録 簿

議員名 福 田 雅 之

年 月 日	令和5年2月3日			
表 題	市政報告書（スマイルレポート 2023年1月）			
相 手 方	市民			
配布部数等	7,500枚（印刷・配布）			
目的、内容、結果等	<p>市政報告書で、市民の皆さんに市政の情報や市議会での質問・活動について報告し、意見、要望等を聴取する。</p> <p>○令和4年12月阪南市議会第4回定例会での一般質問について                  ○地方創生臨時交付金を活用した物価高対策および令和5年度阪南市政の施策に関する要望書の提出について</p>			
活動に要した経費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
				円
				円
				円
				円
				円
	経費内容	金額	内 訳	
	印刷代	14,302円	内訳：7,500枚（A4・両面印刷）	
	配布費	39,050円	内訳：7,100枚（5円/枚）	
		円	内訳：	
		円	内訳：	
		円	内訳：	
合 計	53,352円	使途項目（広報費）		
備 考	印刷作成：ラクスル株式会社      配布：クラシード南大阪			

# スマイル レポート

令和4年第4回定例会が、昨年12月に開催されました。令和4年度補正予算をはじめ、条例制定等の重大な案件を慎重に審議し、一般質問では、「SDGsについて」と「健やかにいきいきと暮らせるまちについて」質問をさせていただきました。これからも皆さまの声をしっかりと市政に届け、安心・安全で活力あふれるまちづくりに全力で取り組んでまいります。



## SDGsに関する取組みについて

**問** 本市では、誰一人取り残さないというSDGsの理念に沿って、17のゴールの達成に向けて積極的に取組みを推進してきたことで、SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業に選定されました。今後、持続可能なまちづくりや地域の活性化に向けて取組みを推進するに当たっては、SDGsの理念に沿って進めることにより政策の最適化や地域の課題解決の加速化など、相乗効果が期待でき地方創生の取組みがさらに充実すると考えます。そこで、本市のSDGsに関する取組みについてお聞きします。

**答** 内閣総理大臣より「SDGs未来都市」の選定を受け、特に先導的な取組として「自治体SDGsモデル事業」にも選ばれたことから、共創による新しい地域価値の創造に向けその事業の推進に取り組んでいるところです。併せて、本市の取組みなどについて広報誌や阪南TV、SNS等の情報媒体や各種イベントを通じて普及啓発を行うとともに、SDGs推進のステークホルダーとなる企業とも新たな連携協定を締結するなど、様々な取組みを実施してまいりました。また、本市では、SDGsの目標達成の促進を図るために、大阪・関西万博の「TEAM EXPO 2025」プログラムにも参加し、大阪府内の他市にはない魅力的な取組である本市の里山里海をフィールドにした共創の取組の世界への発信や伊藤園との「お茶のある暮らし」プロジェクトや村川学園との泉州美食 EXPO などの事業にも取り組んでいます。今後とも、SDGsに関する取組みを一層強化し、「阪南市に住みたくなるまち、魅力あふれるまちづくり」の推進を図ってまいります。

**問** 村川学園との泉州美食 EXPO など、企業連携の取組みについてお聞きします。

**答** 本市では、未来創生部シティプロモーション推進課内に企業連携デスク設置を行い、民間企業などと行政の連携を進めているところであります。村川学園とは、大阪・泉州エリアを美食の街にしようとする、泉州の産・官・学が手を組んだプロジェクト泉州美食 EXPO への参加等に取り組んでいます。



9月には、阪南市で獲れる鱧や太刀魚などの食材と伊藤園より提供されたお茶を使った「阪南だし茶漬け」の商品開発プレゼンテーションが村川学園で開催され、学生たちが考案した6種類のメニューより「泉州もん天茶」が選定されました。この「泉州もん天茶」は、去る11月6日に開催しました産業フェアでも販売していただき、泉鳥取高校の生徒たちの応援も加わり、限定200食が完売され大変好評でした。引き続き、各企業や学校との連携事業に向けた調整を行ってまいります。

## 阪南ファンの拡大について

**問** 体験や経験などの「コト」に対する消費意欲が高まり、様々な「コト消費」が盛んに取り入れられるようになりました。本市においても、共創による新しい地域価値の創造に向けて、各種団体との連携や環境保全活動など、積極的に推進していただいています。そこで、自治体SDGsモデル事業にある、陸や海で体験型コト消費の機会を拡げて、阪南ファンを拡大する取組みについてお聞きします。

**答** 本市の魅力ある地域資源を体感していただく体験型の観光プランにつきましては、すだて漁体験やカキの種付け・ワカメの収穫体験や酒蔵見学など、府内では本市でしか体験できない体験型コンテンツに取り組んでおります。また、今年度につきましては、モンベルのフレンドエリアとして登録されている本市の海・山・里の豊かな自然の魅力発信を行い、交流人口の創出につなげるため、「まるごと阪南市の魅力発見！SDGsイベント」としてモニターツアーを実施いたしました。海コースでは、ビーチクリーン体験やSUP体験、山コースでは銀の峰ハイキングコースでのアウトドア体験、里コースでは季節の作物の植え体験などを実施しています。



参加された方からは、体験を通じて本市の魅力を発見していただくだけでなく、その体験したことをSNSで発信していただくなど、阪南市ファンの拡大を図っています。

## SDGs 未来都市の普及啓発の推進について

**問** シンポジウムや冊子・グッズなどの取組みについてお聞きします。

**答** 普及啓発の推進につきましては、産・官・学・金で構成する「(仮称)はんなん・Co-ベネフィット創出協議会」を設置し、市内で展開する各種のSDGs活動の持続的な展開に向けて取り組む予定です。また、本市独自のロゴマークの作成、のぼりなどの広報ツール、取組みを紹介する冊子などを作成いたします。併せて各種イベント等の実施として、来年3月にシンポジウムを行うほか、普及啓発を目的として、2025年に開催される“大阪・関西万博”の機運醸成を目指す「HANAZONO EXPO」など各種イベント等への参加を行っております。

## 阪南市政への要望



公明党阪南市議会議員団（山本・福田・二神）にて水野市長へ令和4年11月9日に「地方創生臨時交付金を活用した物価高対策及び令和5年度阪南市政の施策に関する要望書」を提出

- ◇中小企業及び個人事業者に対する、物価高騰分への助成を実施
- ◇ヤングケアラーとグリーフケアについて、きめ細かな支援を図る
- ◇子育て世代の支援策となる、子ども医療費助成制度の拡充を推進
- ◇魅力ある地域資源などの特性を活かし、サテライトオフィスを推進
- ◇行政サービスのICT化によるキャッシュレス決済や書かない窓口を推進し行政の効率化と市民サービスの向上に努める等 計93項目